

岩手県大船渡市におけるバイオマス発電事業開始について

太平洋セメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 福田修二 以下「太平洋セメント」）は、イーレックス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 本名 均 以下「イーレックス」）との共同出資により、岩手県大船渡市（太平洋セメント大船渡工場内）に大船渡発電株式会社（以下「新会社」）を設立し、木質バイオマスによる電力卸事業（以下「本事業」）を行うことについて、本日、株主間協定書を締結いたしました。

本事業は、大船渡市赤崎町に所在する太平洋セメント大船渡工場敷地内に、新会社が発電規模 75MW（国内最大規模、再熱式蒸気タービン採用）の発電設備を建設し、「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を利用して電力卸事業を行うもので、発電所建設は2016年度より着手、2019年秋に完成し、以後20年にわたり発電・売電する計画です。

主なバイオマス燃料は、パーム椰子殻（以下「PKS」）を予定していますが、昨今のバイオマス発電事業への参入増加を踏まえた燃料の多様化に対応するため、太平洋セメントはパームオイル搾油工程で従来廃棄されていたパーム空果房（以下「EFB」）に着目し、サラヤ株式会社、Rematec & KSN Thailand Co., Ltd（タイ国）および The Green Biomass Sdn. Bhd（マレーシア国）と協同で EFB の発電燃料化に成功しました。本事業ではこの EFB と PKS の混焼により安定的な操業を確保します。

当社は本事業を通して、環境に優しい再生可能エネルギーの普及を促進すると共に、新会社従業員の地元採用および燃料輸送に付随する雇用の創出等により東北復興の一助と地域経済の活性化に寄与してまいります。

<事業会社の概要>

会社名	大船渡発電株式会社
本店所在地	岩手県大船渡市赤崎町字跡浜 21 番地の 6
設立予定日	2016年8月5日
資本金	40億円
出資構成	太平洋セメント 65%、イーレックス 35%
業務内容	電力卸供給事業および附帯関連する一切の事業

<発電設備および電力卸供給事業の概要>

所在地	岩手県大船渡市赤崎町字跡浜 21 番地の 6 （太平洋セメント大船渡工場内）
発電設備	循環流動層ボイラ、再熱式蒸気タービン採用
発電出力	75MW

発電・売電	発電した電力は全量イーレックスに売却
燃料	バイオマス燃料比率 バイオマス:石炭=90:10 バイオマス燃料は、PKSと EFBを使用する計画
年間発電電力量	約 480,000MWh 一般家庭の約 110,000 世帯分の電力消費量に相当 約 285,000 トン/年の CO2 削減に貢献する
総事業費	235 億円
供給開始	2019 年秋～20 年間



パーム椰子殻 (PKS)



パーム空果房 (EFB)

<本件に関する問合せ先>

太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ

TEL. 03-5531-7334 FAX. 03-5531-7551